

# 今、問われる 飼い主のモラル

問い合わせ先  
環境課 ☎ (25) 7217  
菊池保健所 ☎ (25) 4135

多くの家庭で飼われている犬。あなたの家でも、飼っていますか？ 過剰に甘やかしていたり、他の人に迷惑をかけるような行動を起こしていませんか？ あなたと犬の関係。もう一度、考えてみましょう。

## 飼い主はあなたです

私たちは飼い主を選べません

犬を飼う時、私たちは種類や大きさなど自分の好みで選びます。けれど、飼われる犬たちは飼い主を選ぶことができます。家族として、最後まで幸せに暮らすのか。捨てられて、その命を終わらせてしまうのか。自分の飼っている犬に、どちらの道を選ばせたいですか？ 自分の家族を幸せにするのも、不幸にするのも、飼い主であるあなた次第なのです。

## 飼っている犬の 習性や行動を知りましょう

動物を飼うときは、その動物の習性や行動などをよく知ることが大切です。人の住環境に同居できる犬もいれば、ハスキー犬など住める環境に限られる犬もいます。品種によって必要な世話が大きく異なることもあるので、獣医師などの専門家に相談するなど、犬に対する知識を得ましょう。動物は命あるものです。飼っている動物を捨てると法律により罰せられます。飼い主として、愛情と責任を持って最後まで大切に飼いましょう。

## 飼い主が誰か 分かるようにしましょう

動物は迷子になっても、自分の住んでいる家や連絡先を誰かに教えることができます。自分が迷子になっても、周囲に教えることができないのが動物です。

動物の愛護および管理に関する法律では、家庭で飼う動物に飼い主の氏名や電話番号などの連絡先を記した首輪や名札、マイクロチップなどを装着するよう飼い主に求めています。

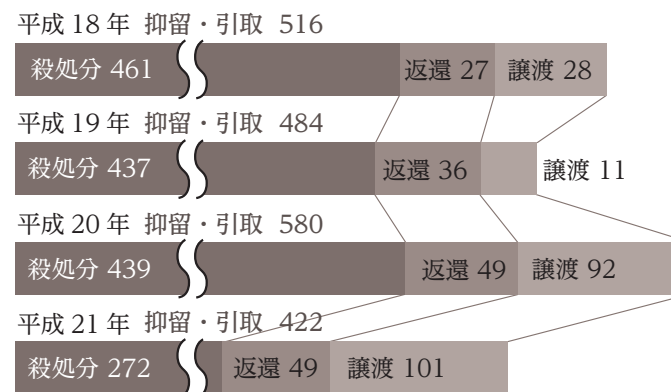
迷子になってもちゃんと家に帰れるように、連絡先が分かるものを付けておきましょう。また、飼っている動物がいなくなったら、すぐにいなくなった場所の保健所や動物愛護センターへ問い合わせてください。

## 「待つ」という気持ちを 知っていますか？

家族として大切に飼われる一方で、捨てられる犬もいます。捨てられたり、迷子になって保護された犬は、保健所で飼い主が迎えに来るのを待っています。一定の保護期間を過ぎても飼い主が迎えに来なかったり、新しい飼い主が見つからなければ殺処分となります。そして現在、収容される犬のほとんどが、飼う人がいないためその命を奪われているのです。

菊池保健所でも、抑留や引き取られた犬のほとんどが殺処分されています。

## 菊池保健所の抑留・引取に対する推移



※菊池市、合志市、大津町、菊陽町が対象

## 群れをつくる犬 隙あれば自分がリーダーになろうとする!?

犬などの長く人間と一緒に暮らしてきた動物は、人とともに暮らすように性質などが変化しています。ペットとして飼われた動物は、自然に戻されても暮らしていくことはできません。人間が健康管理やしつけ、飼育環境を整えてあげなければ、彼らは生きていくことができないのです。

だからこそ、自分の飼っている犬がどんな習性を持っているのか。その行動や性格を知り、それぞれに合った飼育方をしなければいけないのです。

昔から人間と共存してきた犬は群れをつくる動物です。ペットとして飼われる犬は家族を自分の群れだと思い、優



劣の関係を意識するようになります。そして常に自分がリーダーになろうとするので、飼い主がリーダーであることを教えなければいけません。犬は自分より上位のものに服従するので、飼い主がリーダーであると教えると服従心が伸び、しつけがしやすくなります。

## みんなが楽しく 暮らせるように ノーリードは危険がいっぱい

犬を散歩させるとき、きちんとリードをつけていますか？「かわいそうだから」などと付けることをためらっていませんか？

犬は走るものを追いかけて、捕まえようとする習性があります。かわいそうだからとリードをつけず散歩していると、突然犬が走り出したときなど捕まえることができません。ひとりで行き出した犬は車にはねられる危険も増え、迷子にもなります。

また、散歩中に違う犬と出会うことも少なくないでしょう。違う犬と出



散歩のときは、スコップやビニール袋を持ち、きちんとふんの後始末をしましょう。また、車の通りが多い道路を通る場合は、犬が車道へ飛び出さないよう注意してください。

会ったときに、リードをつけていないと飛びかかってけんかになってしまいかもしれません。リードをつけるのは、犬を守るためでもあります。また、散歩のときは

## 知ってください 苦手な人がいること

動物が好きな人は忘れがちになってしましますが、全ての人が動物を好きわけではありません。動物が嫌いな人もいれば、恐怖心を持っている人もいます。アレルギーを持っている人にとっては、呼吸困難など命にかかわることもあります。

動物の中でも、犬は小型犬から大型犬まで種類も大きさもさまざまです。犬が大丈夫な人でも、大きな犬が飛びかかってきて怖い思いをしたことはありませんか？

「うちの子は人を噛んだりしないし、大人しいから大丈夫」などと安易に考



長すぎるリードや持ちにくいリードを使っていませんか？

えないでください。家族には大人しくても、知らない人が触ろうとすると噛んでしまうことがあります。犬も人間と同じように感情を持っていますから、不安になって暴れてしまうことだってあります。リードを握っていても、思わず飛び付いてしまいがちをさせたり、噛み付いてしまうなどのトラブルが発生しています。人に噛み付いてけがをさせてしまうと、犬を処分しなければならなくなったり、賠償問題に発展する可能性もあります。飼っている動物が起こすトラブルは、全て飼い主の責任です。家族の生活だけでなく、周囲に迷惑を及ぼすことがないように注意しましょう。